

T. K 様 18 歳 男性

生後 1 ヶ月でアトピー性皮膚炎が生じ、ステロイド外用で小中学校経過。皮膚炎は体調や季節によって変化し、ステロイドも短期的な効果しかなかった。紫外線療法も受けたが効果なし。高校 1 年で校内暴力の被害に遭って精神的にダメージを受け、不眠・下痢等の過敏性腸症候、対人恐怖になり外出もままならなくなった。高校 2 年で高校中退。ステロイド外用もやめてアトピー性皮膚炎も悪化し、自宅内でひきこもり生活となった。

母親とも口論が絶えず、社会不安と皮膚の強い痒みにさいなまれながら悶々とした日々を送っていた。ある日、当院の存在をインターネットで発見し受診。

2010 年 11 月から 5 ヶ月の入院治療を行った。

当院の常勤カウンセラーのカウンセリングを受けながら、バチルス入浴ケア（BSC）や食事療法を行い皮膚炎は改善。精神的にも立ち直り、将来への夢と希望を明確に持つようになった。入院時 IgE 30536、TARC 3647 であった検査結果は、退院時（2011/4/13）には、IgE 8028、TARC 1260 であった。退院後も 4 ヶ月に 1 回程度受診し、近況を報告してくれた。

退院後はアパートで独り暮らしを始め、通信高校に通った。2014 年春には大学に進学し、今までの遅れを取り戻すかのようにサークル活動やボランティア活動に積極的に励んでいる。その後、BSC は 2013.6 月から 3 年行っていないがアトピー性皮膚炎はほとんど生じていない。

当院の務めは、重症アトピー性皮膚炎で自信を無くし、生活に行きづまり、社会から孤立している人達に希望を与え、重症アトピー性皮膚炎がステロイドなしでもコントロールできる事を明確に示し、社会に復帰させる事だと考えています。

		当院入院期間					退院後 BST 継続期間			BST を行わなくなってからの期間		
項目	基準値	2010/11/19	2011/1/13	2011/2/9	2011/3/4	2011/4/13	2011/8/5	2012/8/17	2013/6/7	2014/9/5	2015/8/7	2016/6/4
TARC	450 以下	3647	1841 ↓	1665	1620	1260 ↓	1003	1128	222 ↓	269	332	343
LDH	120~245	273	200 ↓	208	191	165	206	203	137 ↓	134	155	143
IgE	170 以下	30536	13139 ↓	12548	8194 ↓	8028	7222	8631	5669 ↓	3341 ↓	3165	4296
好酸球	7%以下	15.1	16.0	18.2	15.2	8.0 ↓	8.2	4.6 ↓	5.8	6.5	4.7	6.0

2010年11月

入院時



2011年4月

退院時

